

第6学年 道徳学習指導案

日時 平成27年11月6日(金) 3校時
学級 6年1組(男子22名 女子18名 計40名)
授業者 千葉 順一

1 主題名 自分らしさを生かす 【1-(6)個性の伸長】

2 資料名 「あこがれのパティシエ～好きな道を歩む」
〔「小学校道徳6 明日を目指して」 東京書籍〕

3 主題設定の理由

(1) 価値について

第5学年及び第6学年の内容項目1-(6)は「自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばす。」である。この内容項目は次のように発展していく。

中学年1-(5)
自分の特徴に気付き、良い所を伸ばす。

高学年1-(6)
自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばす。

中学校1-(6)
自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。

この時期の児童には、自己の生き方を見つめ、自分の特徴を多面的にとらえることが必要である。そうすることにより、よい所と悪い所の両面が見えてくる。自分の悪い所を見きわめ、改めていくことが大切であるが、それと同時に、まず自分が気づいたよい所を積極的に伸ばそうとする態度を育てることが必要である。そのため、自分のよい所を知ることが必要であり、それを知ったうえで今後の夢や希望について考えたり、自分の個性を伸ばそうと努力したりすることは、さらなる個性の伸長につながると考える。

(2) 児童について

本学級は、明るく、男女の仲がよい。困っている人を手伝ってあげたり、他の人のことを考えて行動したりする児童が見られる。また、「〇〇さんは、何でも丁寧にやるね。」といったように友達のよい所を素直に表現できる児童が少なくない。

事前の意識調査を行った。

- | | | |
|------------------------------|--------------|--------------|
| ① 自分には、よい所があるか。 | (はい 20人) | (いいえ 20人) |
| ○それはどんな所か。 | | |
| ・いつも元気。 | ・手伝いを進んで行く。 | ・いつも笑顔。 |
| ・サッカーが上手い。 | ・発言をする。 | ・歌が上手い。 |
| ・明るく話す。 | ・前向き。 | ・何でもチャレンジする。 |
| ・優しい。 | ・運動が好き。 | ・係の仕事を忘れない。 |
| ・面白い。 | ・はっきり注意できる。 | ・器用。 |
| ② 自分のよい所を見つけようとしているか。 | (はい 25人) | (いいえ 15人) |
| ③ あなたには、将来の夢がありますか。 | (はい 33人) | (いいえ 7人) |
| ○それはどんな夢か。 | | |
| ・大工 | ・農業 | ・電気関係 |
| ・ガスリンスタンドの人 | ・公務員 | ・芸人 |
| ・水泳選手 | ・柔道選手 | ・漁師 |
| ・サッカー選手 | ・漫画家 | ・料理人、調理師 |
| ・野球選手 | ・パイロット | ・介護士 |
| ・美容師 | ・いいお嫁さん | ・人のためになる仕事 |
| ・デザイナー | ・声優 | ・保育士 |
| ・パン屋 | ・画家、イラストレーター | ・小説家 |
| ・お金持ち | ・教師 | ・動物にかかわる仕事 |
| ・警察官 | ・パティシエール | |

アンケートの結果から、よい所があると答えた児童は50%しかおらず、全体の半数は自分により所がないと思っている。また、よい所を見つけようとしている児童は少し増えた程度である。しかし、将来の夢がある児童は82.5%と高い割合を示した。将来の夢はあるものの、自分のよい所を認識していない児童が多く、そのため、よい所を積極的に伸ばそうという児童は多くない。

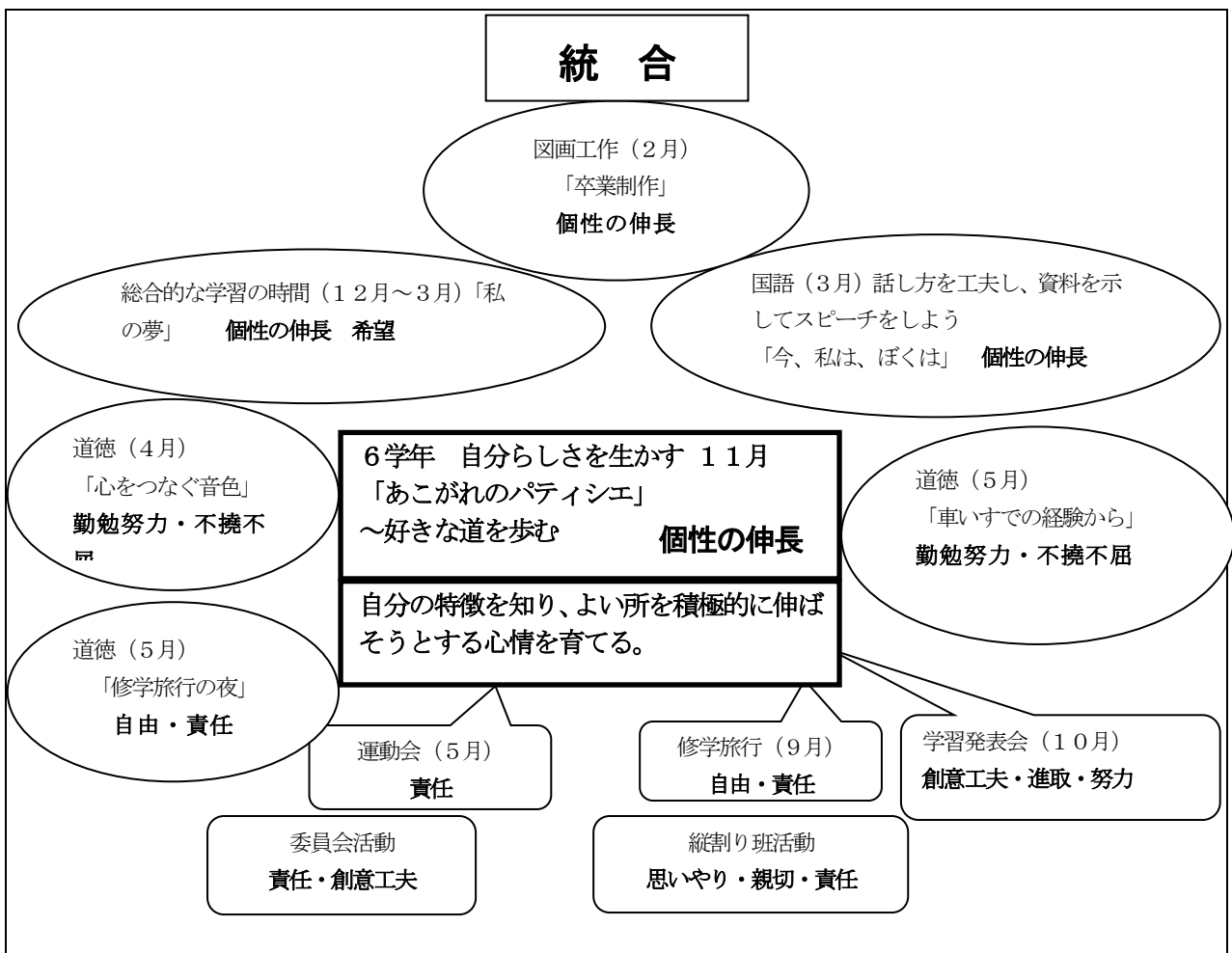
また、昨年度までは2クラスだったのが、今年度初めて1クラスになった。その影響は大きく、昨年度まで

進んで発言していた児童も遠慮がちになり、埋もれてしまっている現状である。

そこで、本指導を通して、自分のよい所に気づくこと、さらにはそのよい所を大切に、伸ばしていこうとする心情を育てたい。

4 教科・領域との関連と補充・深化・統合の視点

- ・1—(6) 個性の伸長については、6年生で扱うのは本資料だけである。本資料では、様々な価値が関連し、個性の伸長につながっていると捉え、それらを統合していくものとして考えさせていきたい。
- ・学級では、帰りの会で「今日のありがとう」というコーナーを5年生の時から設置し、『「ありがとう」と言ったこと』『「ありがたいなあ」と思ったこと』を発表させている。言われた児童は、日頃感じていない自分の行動やよい所に気づく機会となっている。
- ・総合的な学習の時間では、2学期の終わりから3学期にかけて「私の夢」というテーマで学習させる。今の自分を見つめさせ、将来進むべき道を考えさせる。そのための資格や手段などを調べさせたり、将来の夢についての思いを膨らませさせたりする。



5 本時の指導

(1) ねらい

自分の特徴を知り、よい所を積極的に伸ばそうとする心情を育てる。

(2) 指導にあたって

- ・導入では、「よい所アンケート」の集計結果を提示し、よい所についての自分や友達の意識を確認させる。
- ・展開では、パティシエである遠藤さんの心情、考え方、努力の様子を中心に話し合わせる。遠藤さんのケーキへの思いや、これまで頑張ってきたことができたのは、特別な才能があるわけではなく、自分ができることを行い、そのことが遠藤さんのよい所であるのだということに気づかせたい。また、「友達に気づいてもらった自分のよい所」を知らせる時間を設けることで、今まで気づけなかった自分のよい所に気づかせる機会とする。
- ・終末では、自分のよい所を伸ばし、国際舞台で活躍しているバドミントン選手の練習に打ち込む様子や児童へのメッセージを紹介する。

(3) 展開

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 5分	1 「よい所アンケート」の集計結果から自分や友達の状況を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・よい所がないっていう人が多い。 ・かなりの人が夢をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果の人数と内容を見せることで、自分だけでなく、友達の考え方を知らせる。
展開 35分	<p>2 資料について話し合う。</p> <p>○初めてホットケーキを作ったとき、どんな気持ちだったでしょう。</p> <p>○ケーキ作りがどんどん面白くなったのは、なぜでしょう。</p> <p>○店をもった遠藤さんは、どんな気持ちでしたしょうか。</p> <p>◎遠藤さんが一人前のケーキ職人になれたのはどうしてでしょう。</p> <p>3 友達に気づいてもらった自分のよい所を確認、これからの生活に生かす。</p> <p>○自分のよい所をどのように生かしていきたいですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作るのって面白いな。 ・自分にもできるんだ。 ・またやってみたい。 ・嬉しいな。 ・他にも作りたい。 ・みんなに食べさせたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ケーキを作るのが好きだから。 ・できたケーキを見るのが嬉しい。 ・好きなケーキ作りができることが楽しい。 ・できることが増えて嬉しい。 ・大変なこともあるが、一つできると他のことも身に付けたくなる。 <ul style="list-style-type: none"> ・お客さんが喜ぶケーキを作りたい。 ・思った通りのケーキを作れる。 ・何でも自分でやらなければならないけど、自由にケーキを作れるから。 <ul style="list-style-type: none"> ・我慢強い。 ・努力した。 ・お客さん思い。 ・一生懸命に働いた。 ・自分から覚えようとした。 ・あきらめない。 ・夢を大切にしている。 ・夢へ向かって計画を立てている。 ・夢に向かって、やるべきことを取り組んでいる。 <ul style="list-style-type: none"> ・私のよい所は優しい所。夢である看護師になっても、まわりの人に優しくできるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠藤さんの歩みを確認し、考えをもちやすいようにしたい。 ・ケーキ職人になるきっかけになったときの思いを考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ケーキ作りは、楽な作業ではなく、肉体労働であることや同じ作業を繰り返すことなどを確かめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・独立によりどんな不安やよい所があるのかを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・小グループで話し合わせせることで、考えをもてない児童や発表の苦手な児童でも考えをもてるようにする。学習シートに記入させ、遠藤さんのよい所に気づかせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・学級の児童に書かせた「友達のよい所」を配り、感じたこと、取り組みたいことを出させる。
終末 5分	<p>4 自分のよい所を伸ばし、夢に前進している人物を紹介する。</p> <p>○オリンピックを目指して、世界で戦う岩手県出身の方を紹介します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・好きなことに向かって、自分のよい所を伸ばしていったから、こんなに活躍できたのだと思いました。 ・よい所を信じて頑張れば、ものすごい力になり、成長していくのだと感じました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バドミントンナショナルチームの選手を紹介する。

(4) 板書計画

自分のよさを伸ばす

アンケート
結果

一人前になることができたのは

ケーキ作りが好きで、それをもっと伸ばしたから
パティシエになりたい思いを持ち続けたから
自分から覚えようとした
お客さんへの思い

自信

お客さんが喜ぶケーキを作りたい
思った通りのケーキが作れる

不安も

41才

パティシエとして独立

五年間、パリで学ぶ
九年間、日本でパティシエ

25才

パリへ留学

計画的

少しずつ
前進

17才

親方のもと フランスがし

八年もの間、貯金・フランス語

努力

好きなことだから
ケーキ作りが好き
大変なこともあるけど、
もつとやってみたくなる

15才

デパートの食堂

どんどん
おもしろくなる

一人前になるには十五年

肉体労働
同じことのくり返し

小学生

ホットケーキ

楽しい うれしい おもしろい
自分にもできるんだ

あこがれのパティシエ

遠藤さん

店の写真